



# はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

## 横浜医療センターの理念

私たちは人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供するとともに、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者の皆様がより良い医療を受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



令和元年度大規模地震時医療活動訓練・院内災害対策訓練

### 第66号 目次

#### 行事紹介

令和元年度大規模地震時医療活動訓練、  
院内災害対策訓練 ..... 1

行事紹介(横浜看護学校) ..... 3

57回生 戴帽式

第55回 楓葉祭

戸塚ふれあい区民まつり ..... 5

病診連携施設紹介 ..... 6

はっとり泌尿器科・皮ふ科

外来担当医表／編集後記 ..... 7

発行 月：令和元年12月  
発行 行：独立行政法人国立病院機構  
横浜医療センター 広報委員会  
発行責任者：鈴木 宏昌  
住所：横浜市戸塚区原宿3-60-2  
電話：045-851-2621  
FAX：045-851-3902  
URL：http://www.yokohama-mc.jp



●当院携帯サイトはこちらから

# 行事紹介

## 令和元年度院内災害対策訓練を終えて

副救命救急センター長 大塚 剛

去る令和元年9月7日土曜日に院内災害対策訓練を行いました。当院は**災害拠点病院**として、発災時に被災地域の患者さんをはじめ、近隣医療機関の支援などを行うことが任務です。同日に実施された内閣府主幹の全国規模で実施される令和元年度大規模地震時医療活動訓練と並行して院内体制および外部連携を含めた訓練を実施しました。

今回の訓練では「首都直下地震発生を想定した院内災害対応」と「災害拠点病院としての機能、診療体制・多数傷病者受入れを行うための体制・対応の確認」の2つを目標として掲げました。これら2つの内容について説明していきます。

まず「首都直下地震発生を想定した院内災害対応」についてです。これは災害発生とともに院内災害対策本部を立ち上げることに始まります。院長を中心とし、各職員が与えられた役割をもとに「院内災害対策本部の設置・運営」、「診療エリア／トリアージエリアの設置」、「病床確保・入院病床拡大」を行います。また「多数傷病者受け入れ訓練」では当院併設の看護学生に模擬患者役を担ってもらい、災害時に混乱する状況での救急医療の展開について訓練を行いました。看護学生に患者役を演じてもらうことで、臨場感を得られるだけでなく、学生達にとっても早期から災害医療に触れられる良い機会となったのではないかと思います。

「災害拠点病院としての機能、診療体制・多数傷病者受入れを行うための体制・対応の確認」についてですが、これはDMAT調整本部としての役割です。DMATとは災害に対しての専門的な訓練を受けた多職種からなる医療チームです。首都直下地震の際には全国からのDMATが首都圏へ支援に入りますが、当院はその調整本部としてDMATの受け入れと市内の支援を要する医療機関への派遣を調整します。更に今回は「病院避難患者受入」という事で近隣病院からの多数の入院患者受入訓練を行いました。

当院は近隣住民のための医療機関であると同時に市内の他の医療機関の支援を行う事も責務としてあります。今回の訓練では災害対応マニュアルおよびBCP (Business continuity planning: 事業継続計画) マニュアルが発災時に活用できるかどうか検証しました。訓練でうまくいった事ばかりではなく、見直しと今後の課題が浮き彫りになった事もあります。これは訓練を行った大きな成果です。今後も継続的に訓練を行うことで、有事の際に迅速に対応できる組織作りと地域への貢献ができるようにしていきたいと考えています。



# 院内災害対策訓練を通じて ～台風 15 号上陸 2 日前の訓練～

横浜医療センターBCP（病院事業継続計画）策定部会

日本DMAT 業務調整員 斉藤 貴之

令和元年9月7日(土)当院において、院内災害対策訓練を実施いたしました。今回の訓練目的は、首都直下大規模地震発生を想定とした災害対応とし、内容は①災害対策本部の設置・運営訓練 ②患者受入訓練の2本立てとしました。

災害対策本部の設置・運営訓練については、災害医療の原則と言われる「CSCA」（C：Command & Control “指揮命令系統の確認” S：Safety “自分、周囲、患者の安全” C：Communication “情報伝達・通信” A：Assessment “情報分析・活動方針の決定”）を基本として、院長を中心に災害対策本部内にて管理運営訓練を行いました。本部では、様々な情報が飛び交い、その情報を整理し、各部門責任者に報告、責任者はイベントに対して対応指示を出していくといった訓練でした。この訓練においては、本部への報告をスムーズにできるか、本部は集められた多数情報をいかに整理し、適切な部門へ割り振り、部門責任者は適切な指示出しができるかを確認する訓練でした。



患者受入訓練については、「多数外来傷病者受入」と「病院避難による入院患者受入」を行いました。「多数外来傷病者受入」には、横浜医療センター附属看護学校協力のもと、3年生約70名が本訓練の患者役として参加していただきました。ここでは、傷病者の緊急度や重症度に応じて適切な処置や搬送を行うために、傷病者に治療優先順位を決める“トリアージ”を行い、各トリアージエリアへの搬送や受入等が適切に行えるかの確認を行いました。「病院避難による入院患者受入」は、シナリオとして、泉区の国際親善病院が土砂崩れにより、病院機能不全となり、入院患者を当院へ横浜市交通局大型バスにて多数搬送するといった大掛かりな訓練でした。国際親善病院職員約20名が本訓練の患者役として参加いただき、当院の受け入れ体制、多数の入院適応患者をどこで受け入れるのか、多数同時入院時の患者識別や受付方法などの非常時病床拡充体制についての訓練となりました。



訓練の振り返りですが、災害対策本部の設置・運営については、ある程度シナリオがあるとは言え、本部と現場にて“齟齬（そご）”や“ジレンマ”が発生する状況を参加者は肌で感じられたと思います。災害時における指揮命令系統、情報伝達、情報処理の重要性を再認識しました。また、患者受入訓練については、各エリアへの人員配置が不十分であったこと、各エリアを統括管理する部門が無く、指揮命令系統が混乱したこと等、思うように実行できなかったところが多々ありました。

訓練は無事終了しましたが、決して上手く出来た訓練であったとは言えません。課題は全てにおいて山積だと思っています。課題は一つずつ、着実に解決していくよりほかにありません。重要なことは課題をたくさん掘り出していく、克服していくこと。それには、こうした災害訓練を継続することです。単に災害訓練を災害拠点病院の義務としての位置づけではなく、予期せぬ災害時において、横浜医療センター職員一人一人が訓練時と同じパフォーマンスで、かつ臨機応変に落ち着いて適切な対応ができるように、BCP（病院事業継続計画）策定部会としては、今後も災害訓練を充実させていきたいと考えます。

# 行事紹介（横浜看護学校）

## 57回生 戴帽式

- ・今年度の戴帽式は当校の伝統を継承しつつ、より良い戴帽式になるように学生と担任が共に準備をすすめて参りました。戴帽の儀、亀尾看護部長からの聖火継承、ナイチンゲール誓詞を原文で誓うなど工夫し、気持ちも新たに57回生79名が看護師を志す決意を致しました。（看護教員 設楽香織）



- ・戴帽式の練習を進めていく中で、57回生全体の協調性が高まっていくのを感じることができました。学生全員の協力があったので良い戴帽式になり、今後も看護師になる意志を高く持ち学びを深めていきたいです。（戴帽式係リーダー Mさん）
- ・戴帽式を終えて、改めて看護師になるという決意、頑張っていこうという気持ちが強くなりました。この大切な式典を57回生全員でつくりあげたことで、学年の絆が深まりました。ナイチンゲール誓詞を皆さんの前で誓ったことを忘れずに今後も頑張っていきたいです。（サブリーダーSさん）
- ・最初は伝統あるナイチンゲール誓詞を覚え、全員でタイミングをそろえて誓うことが難しかったです。ナイチンゲール誓詞の意味を知り、自分たちで練習を重ねて少しずつ覚えて戴帽式に向かって気持ちを高めることができました。これから看護師を目指す上でもこの戴帽式での経験を思い出し、学んでいきたいと思えます。（Nさん）
- ・戴帽式のためにキャンドルや燭台の準備を行いました。当日は美しいキャンドルの輝きが見られ、印象的な聖火継承のセレモニーになりました。（Fさん）
- ・57回生が看護学生としての意識をしっかりと持ち、看護学生としてふさわしい身だしなみを整えることで一体感が生まれました。看護師になりたいという気持ちが高まりました。（Kさん）
- ・戴帽式当日を迎えるまでに、様々な準備を行いました。戴帽式当日の戴帽の儀では嬉しさとともに、不安な気持ちにもなりましたが、看護師になるという自覚を改めて感じることができ、とてもよかったです。（Hさん）
- ・ナイチンゲール賛歌を皆で練習したことは大変でしたが、当日は素敵な歌声を皆さんに披露できてよかったです。戴帽式を通して57回生全体の絆が深まり思い出に残る式典になりました。（Aさん・Nさん）
- ・戴帽式に向けて、学年で練習を重ね納得ができる式典になりました。戴帽式当日は、緊張感があり看護師になる覚悟ができました。（Tさん）

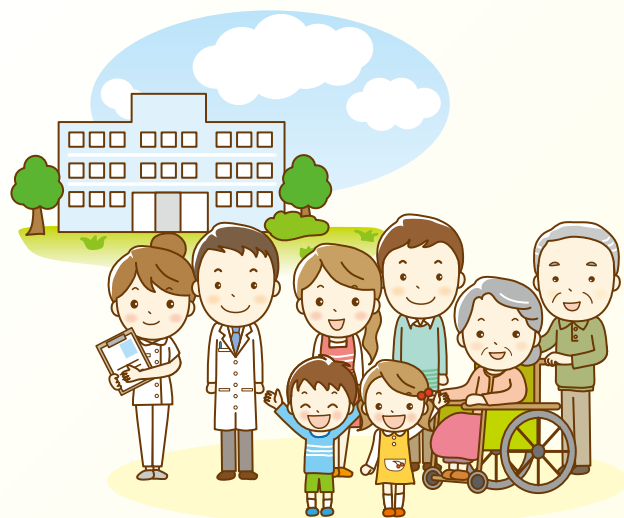
## 第 55 回楓葉祭

楓葉祭委員長 森川・副委員長 加賀

令和元年10月25日（金）、26日（土）に第55回横浜看護学校楓葉祭を開催しました。第55回楓葉祭のテーマは、“絆～心をひとつに～”です。学生が心をひとつに団結して、地域の方々や、患者さん、病棟スタッフに感謝の気持ちを伝え、絆を深められる場となるよう学生全員で考えました。

25日は看護の体験を語るシンポジウム、26日は一般公開を行いました。一般公開では、来校していただいた地域の方に感謝を伝えられるよう模擬店、歌やダンスといったパフォーマンスを実施し、楽しんでいただきました。また、学習したことを展示・発表するとともに、看護体験、患者体験もしていただきました。より健康に過ごすための行動について知っていただける機会となったと思います。

楓葉祭の売り上げは、横浜市の社会福祉活動と台風19号で被災された方々へ寄付しました。全学生が楓葉祭に取り組むことで、学生間の絆はより強固になりました。これからも地域との絆を深めていきたいと思います。



# 第43回戸塚ふれあい区民まつり

地域医療連携室長 駒形 俊文

11月3日の「第43回戸塚ふれあい区民まつり」に参加しました。

今年で2回目の参加になります。場所は東戸塚小学校の体育館内となりますが、体育館は「健康まつり」として、区内の医療関係団体が一堂に会し、健康イベントとして盛り上がっていました。

今年は、戸塚区制80周年という事もあり、区内で、一年を通して行ってきた様々な80周年記念イベントの集大成として位置付けられ、例年の東戸塚小学校に加え、隣接する日立製作所まで会場を広げ、実施時間も1時間延長するなど盛大なイベントとなりました。

当院は、臨床検査科の「骨密度測定」や、看護部の「FAST診断」の説明、また脳神経内科高橋部長の「脳卒中」、整形外科小林医師による「骨粗しょう症」の計4回のミニ講座を実施しました。

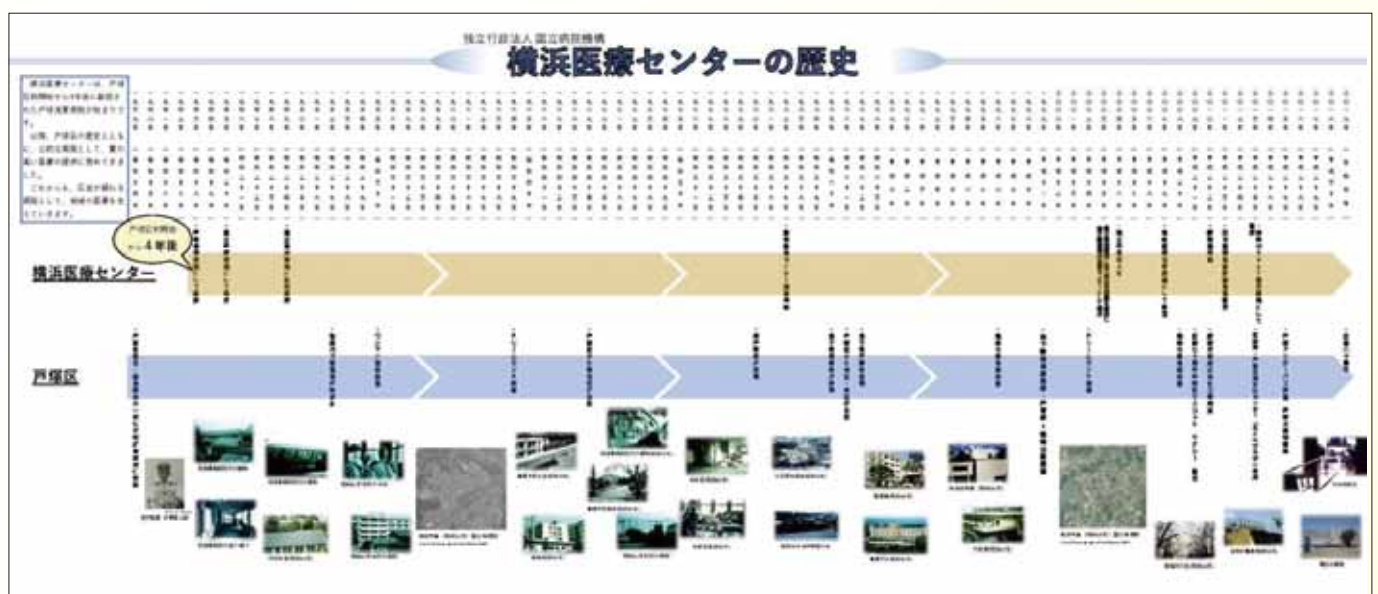
骨密度測定は、特に女性に人気があり、当日の限界人数の259人を測定することができました。脳卒中は早めの対応が必要ですが、その症状をわかりやすくまとめた、FAST診断※の説明には、42人が訪れてくださいました。

これらと連動する形で行ったミニ講座についても、興味深く聞き入っていただいた聴講者も含め、約60人の方にご参加いただきました。

当院は、あまり知られておりませんが、戸塚区原宿の地に76年前に開院し、区とはほぼ同程度の歴史を有します。名称が何度か変わってはおりますが、場所は変わらず、この地で地域医療を担ってきました。今回のイベントでは、このことをご紹介させていただきました。

これからも地域の皆様が安心して暮らせるように、質の高い医療の提供を目指し、頑張っております。

※FAST…Face、Arm、Speech、Timeの頭文字から作られた脳卒中早期発見のための標語。



# 病診連携施設紹介

## はっとり泌尿器科・皮膚科

診療内容：泌尿器科・皮膚科

院長 服部 裕介

副院長 服部 紀子

はっとり泌尿器科・皮膚科は戸塚駅東口から徒歩5分に位置する泌尿器科と皮膚科の専門クリニックです。2017年5月に『おがわ泌尿器科皮膚科クリニック』を引き継ぎ、開院いたしました。

泌尿器科の診療は院長の服部裕介が、また、皮膚科の診療は副院長の服部紀子が担当し、話しやすい雰囲気・わかりやすい説明を心掛けて診療しています。

### 泌尿器科診療

泌尿器科では尿路という腎臓から始まり尿管、尿管、膀胱、尿道とつながる尿の通り道と前立腺や精巣などの男性生殖器にまつわる症状や疾患を専門的に診療しています。男性だけの科というイメージをお持ちの方もいるかもしれませんが、女性・小児の患者さんも多数来院されており、泌尿器科疾患について幅広く診療を行っています。

当院では泌尿器疾患を代表する前立腺肥大・過活動膀胱・尿路結石の診断治療をはじめ、泌尿器がん（前立腺がん・膀胱がんなど）の早期発見・治療後のフォローにも力を入れており、泌尿器がんに関しては100名以上の患者さんの外来治療および術後経過観察を担当させていただいております。

同門である横浜医療センターの泌尿器科の先生方と密接に連携しており、精密検査、入院加療、緊急の対応が必要なときには、円滑にご紹介させていただいております。また、ご紹介した患者さんの治療方針や術後結果等を詳細にご報告いただけるため、患者さんが安心して当院で外来治療継続や治療後のきめ細かな経過観察ができる環境となっております。

### 皮膚科診療

皮膚科では平日（月・火・水・金）午前中のみ診察となりますが、女性医師が皮膚に関するどんな些細なご相談にも対応しています。また、投薬による治療だけでなく、セルフケアについても状態や季節、環境などに合わせて分かりやすくお伝えしています。

診断が付きにくい患者さんや入院・手術が必要な患者さんは横浜医療センター皮膚科を中心に紹介させていただいております。

これからも引き続き、横浜医療センターとの病診連携を通じて、地域の皆さんへ安全丁寧な診療を提供できるよう心がけて参りますのでよろしくお願いいたします。



服部院長



## はっとり泌尿器科・皮膚科

〒244-0816 神奈川県横浜市戸塚区上倉田町447-1  
プラージュ戸塚2F

TEL : 045-862-5001

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日祝
9:30~12:30	◎	◎	◎	—	◎	◎	—
15:00~18:00	◎	◎	◎	—	◎	—	—

【休診日】 木曜日、日曜日、祝日

【皮膚科】 ※皮膚科は平日午前のみ  
（月～水・金） 10:00～12:00

診療科		月	火	水	木	金
外来受付 A	小児科	鈴木 陽一	福山 綾子	只木 弘美	鈴木 陽一	塩谷 裕美
		高橋 英里佳	小形 亜也子	伊波 勇輝	矢内 貴憲	本井 宏尚
		朱田 貴美		高島 博太	小原 真奈	鈴木 裕二
	心臓血管外科	盆子原 幸宏	休診日(手術日)	交代医師	休診日(手術日)	久米 悠太
	形成外科	休診日	村下 一晃	休診日(手術日)	村下 一晃	村下 一晃
整形外科	渡邊 竜樹	日塔 寛昇	渡邊 竜樹	日塔 寛昇	佐藤 雅経	
	小林 明裕	小林 秀郎	小林 秀郎	佐藤 雅経	小林 明裕	
	堀 莉彩	日野 勝利	久富 健介	堀 莉彩	中村 玲菜	
	久富 健介			中村 玲菜		
外来受付 B	総合内科	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師
	糖尿病内分泌内科	小西 裕美	交代医師	小西 裕美	交代医師	小松 裕美子
				宇治原 誠	宇治原 誠	
	脳神経内科	小島 麻里	土橋 裕一	高橋 竜哉	山崎 舞子	上村 直哉
	腎臓内科	松下 啓	毛利 史将	廣田 慧悟	森田 隆太郎	休診日
	呼吸器内科	柴田 祐司	休診日	田村 祐規	休診日	廣瀬 知文
	消化器内科	中島 聡美 (第1・3・5曜日)	内山 崇 (第1・3・5曜日)	田邊 浩紹 (第1・3・5曜日)	細矢 さやか (第1・3・5曜日)	山田 英司 (第1・3・5曜日)
		野中 敬 (第2・4曜日)	宮澤 志朗 (第2・4曜日)	小松 達司 (第2・4曜日)	松島 昭三 (第2・4曜日)	乾 麻美 (第2・4曜日)
	循環器内科	岩出 和徳	森 文章	岩出 和徳	岩出 和徳	森 文章
	膠原病・リウマチ内科	井畑 淳	渡邊 俊幸	井畑 淳	井畑 淳	井畑 淳
外科・消化器外科	清水 哲也	関戸 仁	木村 準	関戸 仁	休診日 (手術日)	
		太田 郁子 (乳腺外科)	交替医師			
呼吸器外科	休診日	野間 大督	休診日	渡部 克也	交代医師	
脳神経外科	休診日 (手術日)	岡田 富 (第1・3・5曜日)	瓜生 康浩 (第1・3・5曜日)	休診日 (手術日)	宮原 宏輔 (第1・3・5曜日)	
		宮原 宏輔 (第2・4曜日)	田中 悠介 (第2・4曜日)		谷野 慎 (第2・4曜日)	
					藤津 和彦	
外来受付 C	耳鼻咽喉科	佐々木 祐幸	赤羽 邦彬	佐々木 祐幸	赤羽 邦彬	交代医師
	眼科	木村 正彦	永田 有司	岡部 智子	木村 正彦	田島 彬子
		藤田 智子	岡部 智子	田島 彬子	永田 有司	藤田 智子
	泌尿器科	井上 雅弘	平井 耕太郎	休診日 (手術日)	平井 耕太郎	井上 雅弘
		石川 達郎	藤岡 あずみ		藤岡 あずみ	石川 達郎
皮膚科	上田 喬士	上田 喬士	休診日 (手術日)	上田 喬士	上田 喬士	
	佐々木 梓	佐々木 梓		佐々木 梓	佐々木 梓	
外来受付 D	精神科	休診日	休診日	交代医師	休診日	交代医師
	産婦人科	向田 一憲	奥田 美加	窪田 與志	乗杉 輝彦	鈴木 理絵
		若林 玲南	高山 智子	下向 麻由	交代医師	榑 知子
		楚南 侑子		湯本 亜美		
	産科	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)
歯科口腔外科		根岸 明秀		根岸 明秀		
		吉井 悠		吉井 悠		
専門外来 (予約制)	脳神経内科	物忘れ外来	頭痛外来 (第2・4曜日)			
	膠原病・リウマチ内科			関節超音波		
	呼吸器内科					アスベスト外来 (第1曜日)
	脳神経外科			脳神経血管内治療外来 (畑岡 峻介)		
	放射線科	杉山 正人	杉山 正人	杉山 正人	幡多 政治	杉山 正人
精神科	物忘れ外来					

初診受付：(平日) 8:30～10:30

休診日：土曜日・日曜日・祝日、12月29日～1月3日

※急患は随時受け付けております。来院前に病院にご連絡下さい。(代表)045-851-2621

※ 青色の枠の担当医は、完全予約制となります。

## ◆編集後記◆

時が経つのは早いもので、あっという間に12月となってしまいました。

今年も11月11日よりシンボルツリーをライトアップしております。

お近くにお寄りの際は是非ご覧になってください。

それでは、今年もありがとうございます。

2020年もどうぞよろしくお祈りいたします。皆様よいお年をお迎えください。



今年最後の満月「ゴールドムーン」とシンボルツリー